



福島県は

子どもたちの
読書活動を
応援します!



第五次福島県子ども読書活動推進計画ができました

基本方針1

子どもが読書に親しむ機会の充実のために

基本方針2

子どもの読書環境の整備と充実のために

基本方針3

子どもの読書活動についての理解の促進のために

小学校3～6年生のみなさんへ



ふくしま応援!
「ペコ太郎」

みんなは一ヶ月で何冊ぐらいの本を読んでいるの?

そうだね。学校の「読書タイム」や休み時には読むけど、家に帰ると違う遊びが楽しくなってしまうようだね。

そうだね。読書の楽しみっていっぱいあるね。みんなが知っている以外にもいろいろな楽しみ方があるから紹介するね。これからも読書を楽しんでみてね!

「はい。だいたい12冊ぐらいです。」
でも、家に帰るとゲームや遊びが楽しくて、あまり読まなくなってしまうんだ。

ぼくの学校では、図書委員会がおすすめの本を紹介してくれるよ。
図書館にお気に入りのシリーズが入るのが楽しみです。
調べ学習でも図書館をよく使うよ。



1 読み聞かせ



いつもは先生や読書ボランティアの方に読み聞かせてもらっていたことを、今度は、自分たちでやってみよう!
同じ班の子や低学年の子など、相手と時間と場所を決めて、やってみよう。
聞いている相手にも喜んでもらえるし、自分も好きな本を聞いてもらえてうれしくなるよ。

3 ビブリオバトル



みんなに読んでもらいたい本を持ち寄り、一人5分で紹介し、その本に関する質問を2～3分ぐらい行います。全ての発表が終了した後に、どの本が一番読みたくなったかを参加者の多数決で選ぶ活動だよ。
中学生や高校生になるとビブリオバトルの県大会や全国大会があるよ。
友達ともゲーム感覚で楽しむことができ、きっと読みたくなる本が見つかるはず!

5 読書郵便



おすすめの本を友達に紹介する活動だよ。
図書委員や図書係さんが郵便屋さんになって、読書郵便ポストに入ったお手紙(おすすめの本について書かれた手紙)を相手に届ける活動だよ。
もらった人は自分もおすすめの本についてお返事を書いてみよう!

2 フックトーク



相手に本への興味がわくように工夫しながら、あるテーマに沿って、いくつかの本を紹介する活動だよ。
「読み聞かせ」のように最初から最後まで全部読むのではなく、本のあらすじを紹介したり、本文を一部分読みだりして、聞き手に「おもしろそう」「この続きはどうなるんだろう」「読んでみたいなあ」という気持ちになってもらうことができるよ。

4 POP・本の帯コンテスト



自分の好きな本や友達に紹介したい本のPOP(おすすめの本を紹介しているイラストや文章)や帯(カバーの上から巻く紙のことで、その本の魅力をアピールするもの)をつくって、教室や図書室に飾る活動だよ。
読みたくなったPOPや帯をつくった友達に賞状を渡すのもいいね!

6 読書カルタ



知っている本や、図書委員や友達のおすすめ本などのカルタをつくってカルタ取りをやってみよう!
読み札は、簡単な本の内容を文字で書くよ。絵札は本の内容から絵をかいてみよう。つくるのも楽しいし、カルタ取りも楽しいよ。

6つの活動を紹介したよ。何かやってみたい読書活動はみつかったかな。
学校で、教室で、家でもできるよ。



本を読む楽しさは、たくさんあるから、いろいろな楽しみ方を見つけて楽しんでね。
ほかにも楽しみ方を見つけたら、ぼくにも教えてね!

イラストレーション: 福島県立福島西高等学校 デザイン科科学VDコース(3年) 石井文平 三瓶陽香

お問い合わせ先/福島県教育庁社会教育課

